



踏ん張って力比べ

## クラブ訪問

238

「自分の力を誰かのために」

### 西中学校柔道部

私たち西中学校柔道部は、1年生3人、2年生7人、3年生9人の計19人で、平日の放課後と土・日曜日に学校の道場で活動しています。

普段は寝技・投げ技の基礎練習や組み手から技を掛け合う実践練習などを行っています。柔道は一人一人の戦い方に個性が出る競技で、力のかけ方や構え、技をかけるタイミングなどが異なります。試合では相手によって臨機応変な対応が必要です。

になるので、どんな状況になっても負けないように基礎練習をしっかりと行っています。

部の方針は「精力善用・自他共栄」です。部の仲間と共に成長するという考えを大切にし、そして自分が身に付けた体力・精神力などの能力を周りの人のために正しく使うことを心掛けています。学校生活の中でも奉仕活動に取り組みむなど、柔道を通して得た自分の力を競技だけに発揮するのではなく、周りの人の助けになることにも生かすことで、仲間のために何が必要かを見分ける判断力や、それを実行する行動力を磨くことができ、自分の成長につながれると思っています。

今後の目標は県大会で優勝して関東大会、さらにその先の全国大会に出場することです。自分のためだけでなく、周りの人のためにも、努力を惜しまずに練習を頑張っていきたいです。



おうりょうじ ひなた  
押領司 陽向 部長(3年生)

全国大会で活躍した兄と姉に憧れて小学1年生から始めました。高校でも続けるので、これからも頑張りたいです。



ますだ このみ  
増田 心美 部長(3年生)

親に勧められて興味を持ち、小学3年生から始めました。失敗しても諦めずに技を掛けることを心掛けています。

# なかまと一緒に

235

「奥行きのある作品を」

素敵なシャドーボックス



仲間との出会いは宝物です



先生にアドバイスをもらいながら



パーツを重ねて立体感を出す

私たち「素敵なシャドーボックス」は、毎月第2・4木曜日に加良部公民館でシャドーボックス制作を行っているサークルです。

シャドーボックスは、同じ絵をいくつも重ねることで、その陰影と奥行きを楽しむ立体アート。まずは作品の基になる絵を選び、その絵を10枚程度準備します。次に専用のカッターで絵のパーツを切り、最後に発泡スチロールや専用の接着剤を間に挟んで重ねていくことで立体感を出します。重ねる順番や厚みで立体感が大きく変わるので、どのパーツを最初に置いて、どういう順番で重ねていくかという構成を考える作業が、制作の過程で一番の難関です。基の絵をよく観察してイメージすることが重要で、植物をモチーフにした作品を作るときには、図鑑を見て花のつくりなどを勉強することもあります。

また、切ったパーツはそのまま使うのではなく、断面をペンで塗って毛羽立ちを押さえたり、専用のへらを使って縁に丸みや反りを加えたりします。そうすることで、どの角度からもきれいに見え、さらに細かな立体感を表現することができます。美しい作品を作るには、このひと手間が重要なポイントになります。頭を使い、気が遠くなるような細かい作業をすることもありますが、完成した作品を額縁に収めたときの達成感は一とおです。今年サークル結成20周年の節目の年。2年ぶりに作品を展示する機会もありました。これからも多くの人に作品を見てもらえるように頭と手先を使いながら、こつこつと制作を続けていきます。

# スクスクのびのび



はやし ゆうたろう  
林 優太郎くん

8月にお兄ちゃんになりました！



なるた あやみ  
鳴田 彩未ちゃん

みんなに支えられて、元気に1歳になりました！



あいはら あやと  
相原 彩人くん

歩けるようになって笑顔であちこちたずらの毎日です。

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気軽に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

○応募方法 お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字程度のコメントを郵送またはEメールで広報課へ  
〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課  
koho@city.narita.chiba.jp (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください)  
○応募先 広報課 ☎20-1503  
○問い合わせ先

499